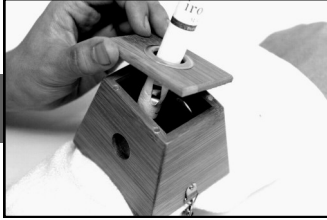
棒灸用具　取扱説明書

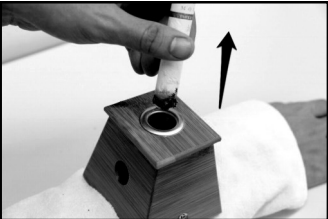
このたびは、棒灸用具シリーズ（棒灸ホルダー、温灸ボックス、経絡温灸棒）をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前に本説明書をお読みになり、正しくお使いください。

000-0456 棒灸ホルダー　小／1孔
000-0457 棒灸ホルダー　中／2孔

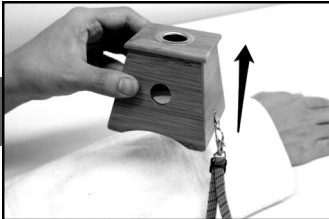
同梱物
①本体
②ゴムバンド

❏組立て方・使用方法

1.

身体の上にタオルを敷き、その上に設置します。

2.

棒灸に火を付け、火が付いている方を下にして差し込みます。
※奥の金網に棒灸の先端が触れないようご注意ください。また、短くなった棒灸は使用できません。

3.

使用中、棒灸の様子をこまめに確認して下さい。

※長時間使用すると、棒灸が短くなり、本体から外れてしまう可能性があります。また、燃焼したまま放置すると、やけど、低温やけどや火災につながる恐れがあります。
※使用中に身体をむやみに動かすと、やけど等の恐れがあり大変危険です。

※

必要に応じて、バンドを取り付けてご使用ください。

※付属のバンドは、腕や脚などに取り付けるためのものです。お腹や背中など広い部位には取り付けられません。
※バンドをつけていても、バンドの長さ調整しだいではしっかりと固定されないことがあります。使用中はバンド装着の有無にかかわらず、身体をむやみに動かさないでください。

❏使用後

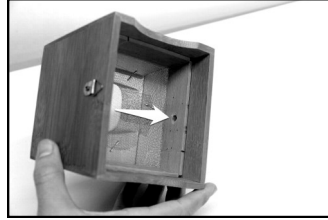
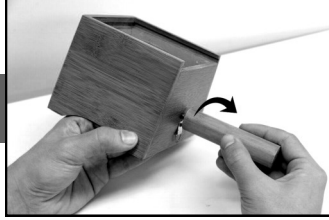
1.

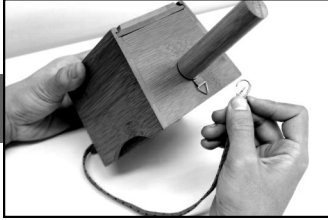
棒灸を本体から抜き取ります。
使用した棒灸は確実に消火してください。

2.

本体を身体から取り外します。

3.

使用後は、本体内部の灰を捨ててください。

❏使用上のご注意

【警告】
●火を使う特性上、やけど、低温やけどの危険があります。商品瑕疵以外のやけどによる責任は負えません。●長時間同じ場所に使用せず、棒灸の状態をこまめに確認して下さい。●使用中、細かな灰等が落ちる可能性があります。肌に直接使用せず、タオル等の上からご使用ください。●使用中、身体をむやみに動かすと、本体が倒れるなどしてやけどをする可能性があります。●火災の危険があります。使用後は、消火を十分にご確認ください。

【注意】
○使用中は十分に換気をしてください。○以下に該当する場合は使用をお控え下さい。肌に異常がある時、体調不良時、肌に水気（汗など）がある時、酒酔い時。○以下に該当する方は、医師等とご相談の上、十分注意してご使用ください。妊娠の可能性のある方、体力の低下している方、ご自分で温度調節のできない方、幼児、動物。

000-0458 温灸ボックス　小
000-0459 温灸ボックス　中

同梱物
①本体
②ゴムバンド
③木製ハンドル・ハンドル用ねじ

❏組立て方

1.

本体裏側のねじ穴から、ねじを差し込みます。

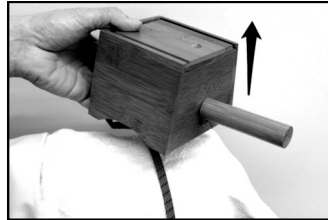
2.

ねじを裏側から押さえながら、ハンドル部分を外側から取り付け、右回転させてねじ止めします。 ※ねじを強く回しすぎると、本体が破損する恐れがあります。

3.

必要に応じてバンドを取り付けてください。

※付属のバンドは、腕や脚などに取り付けるためのものです。お腹や背中など広い部位には取り付けられません。
※バンドをつけていても、バンドの長さ調整しだいではしっかりと固定されないことがあります。使用中はバンド装着の有無にかかわらず、身体をむやみに動かさないでください。

❏使用方法

1.(A)

（短くなった棒灸を使う場合）
火を付けた棒灸を本体に入れます。

1.(B)

（もぐさの場合）
もぐさを必要なだけ入れ、着火器等で火を付けます。
※必要以上のもぐさを入れないようご注意ください。

2.

身体の上にタオルを敷き、その上に設置します。（バンドを使用する場合は、バンドを身体に取り付けてください）

※燃焼したまま放置すると、低温やけどや火災につながる恐れがあります。
※使用中に身体をむやみに動かすと、やけど等の恐れがあり大変危険です。お腹や背中など、バンドを付けられない箇所に置く場合はとくに注意してください。

❏使用後

1.

完全に燃え尽きていることを確認の上、身体から取り外します。

2.

使用後は、本体内部の灰を捨ててください。

❏使用上のご注意

【警告】
●火を使う特性上、やけど、低温やけどの危険があります。商品瑕疵以外のやけどによる責任は負えません。●長時間同じ場所に使用せず、内部の状態をこまめに確認して下さい。●使用中、細かな灰等が落ちる可能性があります。肌に直接使用せず、タオル等の上からご使用ください。●使用中、身体をむやみに動かすと、本体が倒れるなどしてやけどをする可能性があります。●火災の危険があります。使用後は、消火を十分にご確認ください。

【注意】
○使用中は十分に換気をしてください。○以下に該当する場合は使用をお控え下さい。肌に異常がある時、体調不良時、肌に水気（汗など）がある時、酒酔い時。○以下に該当する方は、医師等とご相談の上、十分注意してご使用ください。妊娠の可能性のある方、体力の低下している方、ご自分で温度調節のできない方、幼児、動物。